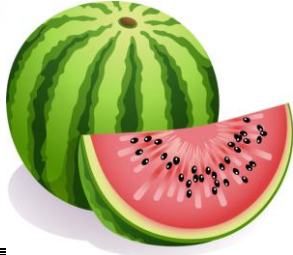




平成27年度「篠ノ井西中学校 学校通信」



布施だより

発行日 平成27年8月19日

第16号(192号) 校内版

長野市立篠ノ井西中学校

電話(026)292-0244

FAX(026)292-7880

担当:教頭 中山

《2学期85日間のスタートです~終業式から夏休みを振り返って~》

終えてしまえばあっという間の夏休みです。大きな事故や事件の報告もなく、西中の生徒諸君が本日より、2学期85日間のスタートを切りました。教室では、久しぶりの再会にはにかみながらもクラスや学校で過ごせることの何気ない喜びに改めて触れられた一日でした。

時間はひと月前に遡りますが、7月27日の終業式から夏休みを振り返り、2学期のエネルギーにしてほしいと願っています。2学期もよろしく願いいたします。

~ ~ ~ ~ ~

終業式では、学校長から「信頼と団結」についての講話がありました。

この1学期、とても心に残った3年生の生活記録がありました。体育集会のことについて書かれた生活記録です。

○中学校生活最後の体育集会がありました。リレーと大縄の2種目を競い合いましたが、5組の結果は大縄が3位、そしてリレーが何と1位でした。リレーでは、まさか1位をとるなんて思っていなかったのも嬉しかったです。また、大縄では117回というベストを出し、みんなで達成感を味わうことができました。5組がこのような満足のいく結果を出せたのは、みんなが集中して真剣に競技に取り組んだことはもちろんですが、他にもあります。時間を意識して頑張ってきた「給食を55分までに準備し終えること」や「チャイムスタート」を通して、団結力が深まったことが結果につながっていると思います。日常生活でコツコツ積み重ねてきた努力は、他の場面でも発揮できるということを強く実感しました。思い出に残る体育集会でした。



こういう生活記録です。「なぜ117回跳べたのか」、その理由が分かっていることに、さすが3年生だなと思いました。大縄は技術だけでは跳べません。クラスみんなの気持ちがひとつにならなければ跳べません。このことは、皆さんが実感していることだと思います。

「クラスみんなの気持ちをひとつにする。」言葉では簡単に言えますが、実際にはたやすいことではありません。一体どうすればクラスみんなの気持ちをひとつにできるのか? みんなの気持ちがひとつになれたわけは、日常生活の中にあると言っています。そして、そのことを実感したと言っています。

「特別なことをするために、特別なことをするのはない。特別なことをするために、普段どおりの当たり前のことを当たり前にするのだ。」「小さなことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道」これはイチロー選手の言葉です。

誰もが自分のクラスに愛着を持ち、自分のクラスに誇りを持ちたいと思っています。クラスの誇りとは、「信頼」と「団結」だと思います。クラスの信頼と団結を深めるにはどうすればよいのか？そして、クラスみんなで達成感や成就感を味わうにはどうすればよいのか？

3年生が体育集会で学んだことを、全校のみなさんに知ってもらいたい、今日はそんな気持ちでお話をしました。2学期には生徒会の最大行事、銀河祭があります。自分のクラスを意識し、クラスを感じる場面がたくさんあります。今日お話したことを、ぜひ心に刻んで2学期を迎えてほしいと思います。

続いて学年代表の3人の皆さんが、1学期を振り返り、2学期へ気持ちを向けてくれました。

「・・・応援委員会に入りました。応援で思い返すのは小学校時代の運動会でした。6年生の時、僕は応援団長だったのですが、多くの人の前で大声を出すことにとても緊張したのを覚えています。倉石委員長は、1学期に壮行会を何回も行って、その度に気持ちをコントロールする力があり、すごいなぁ～と思いました。そして部活動のことです。特に最後の3年生の試合が心に残っています。そこでは、先輩達は全力でプレーをしていました。僕も2年後は、グラウンドで全力を込めてプレーしたいです。」

1年1組 内田悠輔さん



「・・・職場体験で特に頑張ったことが挨拶です。僕は昔から挨拶することが、あまり得意ではありません。ですが、僕が職場体験学習でお世話になった小売り・販売業ではお客さんへの明るく大きな挨拶が基本です。職場担当の方からも「挨拶が大切」と言われました。でも1日目には挨拶が上手くできないことが多く、一緒に行った仲間にも「もう少ししっかり挨拶しよ。」とアドバイスを受けました。2日目はしっかり大きな声でできたと思います。挨拶に関して職場体験学習では貴重な経験ができました。これからも日常生活でしっかり挨拶をしていけるようにしたいです。」

2年1組 野村峻栄さん



「・・・僕はサッカー部に所属しています。先月、最後の市中大会がありました。結果は1敗2分けで、北信大会へ進むことができませんでした。暑さの中、足がつるまで走った仲間、怪我をしてまで体を張って守ってくれた仲間、負けて悔しくて泣いた仲間、みんな僕の大切な仲間です。その仲間と一緒に残りのリーグ戦を勝ち進めるように頑張りたいです。学習面では受験生というのに、まだ実感が湧かず、真剣に学習に取り組めていません。高校の体験入学が始まっています。志望高校の見学会に参加し、気持ちを高めていきたいです。1学期も今日で終わりです。そして中学校生活も残り8ヶ月です。これから最後になる行事がたくさんあります。その行事をクラスのみならず楽しんでいきたいです。」

3年6組 野沢佳祐さん



《 生徒会サミット参加 》

8月10日(月)の信濃毎日新聞に「長野・松本の中学生『生徒会サミット』文化祭へ意見交わす」の記事が掲載されていました。～9日、長野市役所で開かれた「生徒会サミット」に、長野市から17校47名、松本市から6校6人の生徒会正副会長が参加し、秋の文化祭に向けた取り組みについて意見交換した。生徒たちは十数グループに分かれ、アルミ官回収で集めたお金を生徒会の活動費に充てていることや、登校時の校門前でのあいさつ運動といった活動を報告し合った。サミットはこれまで長野市の生徒会だけで2回開いた。両市の連携事業の一環で、今回初めて松本市からも参加があった。～本校からも生徒会3役の高野さん、渡辺さん、藤田さんが参加してくれました。以下は当日の参加資料です。

～ ～ ～ ～ ～

篠ノ井西中学校生徒会



1 特色ある本校生徒会の活動

(1) 人権を考える集会(4月下旬～5月上旬 本年度は4月28日に実施)

主旨:「人権を考える日」とし、差別やいじめのない篠ノ井西中学校をみんなでつくっていく。

概要...全校集会を1時間、学級で考える時間を1時間、計2時間

- ① 校長先生のお話
- ② 朗読(司書の先生による)
- ③ 生徒会長の願い
- ④ 全校企画...生徒会主催で、「一人ひとりの人権宣言」の作成
- ⑤ 西中人権宣言...三役が一人ひとりの人権を守るための宣言をする
- ⑥ 各学級にもどり、学級の人権宣言を決める



キズナPOWERで広げよう677のえがお

(2) 文化祭での全校参加による活動 ～ステンドグラス制作・全校ダンス～



現在、制作中



文化祭後の2週間、午後6～7時頃まで点灯しています。

ステンドグラスは、文化祭実行委員の3年生が夏休み中に下絵を準備します。夏休み明け、2週間か

けて全校生徒が参加し、クラスごとに制作を進めます。文化祭前日に点灯式を行い、卒業生や地域の方々にも楽しみにしていただいている西中の名物です。全校ダンスは、閉祭式のなかで行われます。本年度は創作ダンスを行う予定です。文化祭までに学年ごとに練習時間を設けたり、昼休みに全校で練習する時間を設定したりしています。

2 今年度の生徒会スローガンと重点活動

平成27年度
スローガン

Legend

とき
～新たな伝説を魅せる刻～

平成27年度
銀河祭スローガン

50年のキセキ 今燃えあがれ～676人の心あったかいんだから～

第50代生徒会の目指す西中の姿

一期一会を大切にし、笑顔あふれる西中にする
こと、あいさつのできる学校にすること、
50年目を迎える西中の生徒会行事や記念行
事などを成功させることを目指す

笑顔あふれる西中にする

「スマイルプロジェクト」

あいさつのできる学校

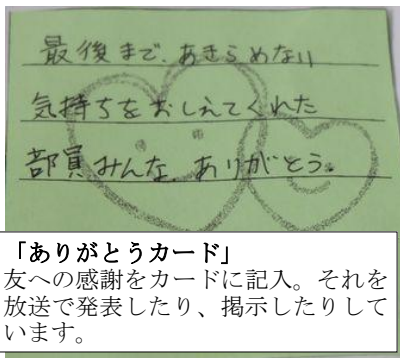
「あいさつ運動」

一期一会を大切に

「ありがとう運動」の継続

「スマイルプロジェクト」

昼休みや放課後の笑顔の写真を撮っていく。文化祭などで掲示や映像として、全校に見てもらおう。



「ありがとうカード」

友への感謝をカードに記入。それを放送で発表したり、掲示したりしています。



「無言入退場」

役員がろうか、階段等に立ち、カードで状況を伝えます。



「あいさつ運動」

代議員会と連携して、登校時に校門や昇降口に立ってあいさつをします。

《真夏の活躍～北信越中学校総合体育大会・合唱コンクール～》

《バドミントン部》

【女子シングルス】太田捺美香さん

1回戦 対進明（福井） ●0-2 惜敗

《陸上競技》

【400mリレー】戸谷泰生さん 土屋優輝さん
仙田勇人さん 伊東嵩矢さん
大館杏土嶺さん 阪上史也さん
予選1組6位

（惜しくも決勝へ進めず）

《合唱部》

長野県合唱コンクール地区大会（NHKコンクール）金賞

祝 長野県大会出場 8/22 於：岡谷市



